資料７

林業・木材産業成長産業化促進対策交付金

林業戦略課

林業・木材産業成長産業化促進対策交付金

１　対策の概要

（１）目　的

戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中，これらの森林資源を循環利用し，林業の成長産業化を図ることが重要な課題となっている。

このため，意欲と能力のある林業経営体に森林の経営・管理を集積・集約化するとともに，川上から川下までの連携による生産・加工・流通コストの一体的な削減を図るべく必要な支援を行う。

（２）主な内容

①持続的林業確立対策

間伐材生産，資源を高度利用するための施業，路網整備、高性能林業機械の導入等への支援を行う。

②木材産業等競争力強化対策

上記①と連携した木材加工流通施設，木質バイオマス利用促進施設等の整備への支援を行う。

③林業成長産業化地域創出モデル事業（公募事業）

地域の森林資源を循環利用することで，地元に利益が還元され，その活性化に結び付くモデル的な取組に対する支援を行う。

（３）事業実施主体

都道府県，市町村，森林組合，森林整備法人等，選定経営体，
林業者等の組織する団体，木材関連業者等の組織する団体　など

（４）交付率

定額（１／２，４／１０，１／３以内等）

（５）事業期間

平成３０年度　～　平成３４年度（５カ年）

２　令和元年度事業計画（施設整備（ハード））

（１）持続的林業確立対策

素材生産量を，現状値３５３千㎥（平成２８年度素材生産量値）から，５年後には４８０千㎥（１２７千㎥増）まで増産することを目標に，次のとおり「高性能林業機械等」の整備を実施し，県産材の増産体制の強化を図る。

〇高性能林業機械等の整備

事業内容	実　施 市町村	事業実施主体	全体事業費 （千円）	交付率	交付金 （国費） （千円）
高性能林業機械等 プロセッサ 1台 フォワーダ 1台	神山町	徳島中央森林組合	21,770 11,124	1/3	6,719 3,430
計2台	細計		32,894		10,149
合計 2台			32,894		10,149

《参考》

〇高性能林業機械等

プロセッサ	林道や土場などで、全木集材されてきた材の枝払い、測尺、玉切りを連続して行う自走式機械。
フォワーダ	玉切りした短幹材をグラップルクレーンで荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械。

（イメージ）

プロセッサ

フォワーダ

林業成長産業化総合対策のうち

林業・木材産業成長産業化促進対策

【平成31年度予算概算決定額　8,888（12,290）百万円】

＜対策のポイント＞

意欲と能力のある経営者を育成し、木材生産を通じた持続的な林業経営を確立するため、**出荷ロットの大規模化、資源の高度利用を図る施業、路網整備、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設の整備等、川上から川下までの取組を総合的に推進**します。

＜政策目標＞

国産材の供給・利用量の増加（30百万m^3［平成29年］→ 40百万m^3［平成37年］）

＜事業の内容＞

1．持続的林業確立対策

○　意欲と能力のある経営者を育成し、持続的な林業経営を確立するため、**出荷ロットの大規模化、路網整備、高性能林業機械等の導入、間伐材生産、主伐時の全木集材と再造林の一貫作業、早生樹導入、コンテナ苗生産基盤施設等の整備、森林境界の明確化、自伐林家等への支援**等を推進します。

2．木材産業等競争力強化対策

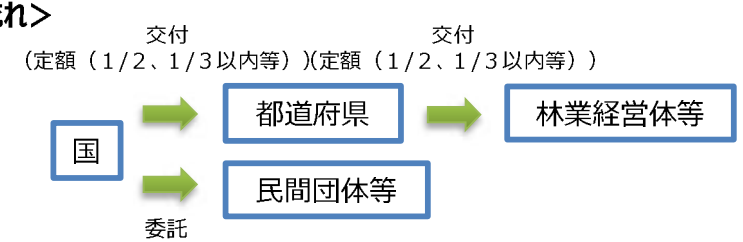
○　木材産業等の競争力強化を図るため、意欲と能力のある経営者との連携を前提に行う**木材加工流通施設、木造公共建築物、木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備**を支援します。

※SCM推進フォーラムと連携した木材加工流通施設等の整備についても支援。

3．林業成長産業化地域創出モデル事業

○　森林資源の利活用により**地域の活性化に取り組むモデル的な地域を優先的に支援**し、**優良事例の横展開**等を図ります。

＜事業の流れ＞



※　このほか国有林による直轄事業を実施

＜事業イメージ＞

路網整備

間伐材生産、高性能林業機械導入

木材加工流通施設整備

木造公共建築物整備

［お問い合わせ先］林野庁計画課（03-6744-2300）